

学術活動・研究業績

これまでに発表した学位論文、原著論文、症例報告、総説および学会発表をご紹介します。

学位論文

原著論文

症例報告論文

総
説

学会発表

01

学位論文

DOCTORAL THESIS

- 1 辻本仁志：マウス唾液腺発癌における上皮増殖因子の役割．四国歯誌 7:21-37, 1994.

02

原著論文

ORIGINAL ARTICLES

- 1 Yura Y, Kondo Y, Iga H, Harada K, Tsujimoto H, Yanagawa T, Yoshida H, Sato M: Enhanced replication of herpes simplex virus by hexamethylene bisacetamide. J Natl Cancer Inst 83(3):186-189, 1991.
- 2 Yura Y, Kondo Y, Iga H, Harada K, Tsujimoto H, Yanagawa T, Yoshida H, Sato M: Heparan sulfate as a mediator of herpes simplex virus binding to basementmembrane. J Invest Dermatol 98(4):494-498, 1992.
- 3 Yura Y, Tsujimoto H, Kusaka J, Harada K, Yoshida H, Sato M: Induction of carcinomas and sarcomas by 9,10-dimethyl-1,2-benzanthracene administration into the hamster maxillary sinus. J Oral Pathol Med 24(3):120-124, 1995.
- 4 Yura Y, Tsujimoto H, Kusaka J, Yoshida H, Sato M: Effects of testosterone on tumor induction and epidermal growth factor production in the mouse submandibular gland. J Oral Pathol Med 24(7):303-308, 1995.
- 5 Yura Y, Tsujimoto H, Kusaka J, Yoshida H, Sato M: Hexamethylene bisacetamide as a chemopreventive agent in hamster cheek pouch tumorigenesis. Eur J Cancer B Oral Oncol 32B(4):246-250, 1996.
- 6 Harada K, Yura Y, Tsujimoto H, Kusaka J, Yoshida H, Sato M: Effect of local administration of epidermal growth factor on 9,10-dimethyl-1,2-benzanthracene -induced tumor formation in hamster cheek pouch. Eur J Cancer B Oral Oncol 31B(1):27-31, 1995.

- 7 **Yura Y, Kusaka J, Kondo Y, Tsujimoto H, Yoshida H, Sato M:** Inhibitory effect of tyrphostin on the replication of herpes simplex virus type 1. Arch Virol 140(7):1181-1194, 1995.
- 8 **Tsujimoto H, Yura Y, Yoshioka Y, Kusaka J, Yoshida H, Sato M:** Effect of epidermal growthfactor administration on the development of mouse salivary gland carcinomas. J Oral Pathol Med 28(1):30-36, 1999.
- 9 **磯野大輔, 戸矢 隆, 亀井琢正, 辻本仁志, 丸橋 賢:** 咬合治療により睡眠障害が改善した患者の条件について. 全身咬合 23(1):1-10, 2017.

03 症例報告論文

CASE REPORTS

- 1 **由良義明, 伊賀弘起, 近藤康夫, 原田耕志, 辻本仁志, 吉田秀夫, 佐藤光信:** 単純ヘルペスウイルス感染症に対するアシクロビル軟膏の使用経験. 日口外誌 38:1887-1888, 1992.
- 2 **板東高志, 辻本仁志, 岡本正人, 伊賀弘起, 吉田秀夫, 佐藤光信:** 完全静脈栄養施行中の亜鉛欠乏症により発症した皮膚炎の一例. 日口外誌 40:1160-1162, 1994.
- 3 **由良義明, 近藤康夫, 原田耕志, 辻本仁志, 日下 淳, 吉田秀夫, 佐藤光信:** イソフラボンの単純ヘルペスウイルス増殖に及ぼす影響. 日口外誌 44:66-76, 1995.
- 4 **辻本仁志, 伊賀弘起, 吉田秀夫, 佐藤光信, 羽地則雄, 林 良夫:** 左頬部に発症し, 慢性じん麻疹を併発した軟部組織好酸性肉芽腫の一例. 日口外誌 42:708-710, 1996.
- 5 **辻本仁志, 佐藤俊哉, 青木博之, 亀井琢正, 海老沢 博, 丸橋 賢:** 骨量が少ない上顎臼歯部へのインプラント植立. 日本口腔インプラント学会誌 16(4):521-529, 2003.

04 総説

REVIEWS

和文

- 1 **辻本仁志:** サイナスリフトの術式と診断上の注意点. : 歯科医療 21(4):41-50, 2007.
- 2 **辻本仁志, 市川哲雄:** 第一章インプラント補綴 3 骨質, 骨量の分類. : 補綴臨床別冊 審美歯科・インプラントワードブックp24-25, 2008.
- 3 **辻本仁志:** 講座「幸福長寿社会を実現する映像情報技術」(第3回) 歯科と全身のつながり 3. 噛み合わせと姿勢・身体症状. : 映像情報メディア学会誌 78(4): 427-432, 2024.

05

学会発表

CONFERENCE PRESENTATIONS

国際学会

ポスターセッション

- 1 **Tsujimoto Hitoshi:** Modified socket lift technique by lifting up of sinus floor membrane: Installation technique of implant for the atrophic posterior maxilla. World Congress for Oral Implantology 6(WCOI 6), Hawaii, 2004, 3.

国内学会

シンポジウム

- 1 **由良義明, 辻本仁志, 原田耕志, 吉田秀夫, 佐藤光信:** ハムスター頬嚢腫瘍形成に及ぼすHexamethylene bisacetamideの影響. 第37回日本口腔外科学会総会, 横浜, 1992, 11.
- 2 **辻本仁志, 福井一裕, 白神哲也, 伊賀弘起, 吉田秀夫, 佐藤光信, 石丸直澄, 羽地則雄, 林 良夫:** 左頬部に発生した木村氏病の一例. 第24回日本口腔外科学会中国・四国地方会, 愛媛, 1995, 5.
- 3 **伊賀弘起, 辻本仁志, 中城公一, 吉田秀夫, 佐藤光信:** 耳下腺部に発症した嚢胞様癌の一症例. 第40回日本口腔外科学会総会, 東京, 1995, 10.
- 4 **日下淳, 由良義明, 辻本仁志, 吉岡幸男, 吉田秀夫, 佐藤光信:** 単純ヘルペスウイルス感染に及ぼすホルボールエステルとセファランチンの影響. 第41回日本口腔外科学会総会, 東京, 1996, 11.
- 5 **辻本仁志, 青木博之, 亀井琢正, 海老沢 博, 丸橋 賢:** インプラント頸部骨量の初期変化に対するレントゲンの評価ー三種類のインプラントにおける荷重前評価ー. 第31回日本口腔インプラント学会総会, 福岡, 2001, 9.
- 6 **丸橋 賢, 青木博之, 辻本仁志, 亀井琢正:** 全人的歯科臨床とエンド. 第22回日本臨床歯内療法学会, 愛知県, 2001, 5.
- 7 **辻本仁志, 青木博之, 亀井琢正, 海老沢 博, 丸橋 賢:** インプラント辺縁骨初期吸収にインプラントの形状, 骨密度が及ぼす影響. 第21回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会, 東京, 2002, 2.
- 8 **辻本仁志, 青木博之, 亀井琢正, 海老沢 博, 丸橋 賢:** 垂直的骨量の少ない例へのソケットリフトによる対応ーサイナスリフトの適応基準の考察ー. 第32回日本口腔インプラント学会総会, 広島, 2002, 9.
- 9 **亀井琢正, 青木博之, 辻本仁志, 海老沢 博, 丸橋 賢:** インプラント支持により咬合治療が功を奏した4症例. 第33回日本口腔インプラント学会総会, 名古屋, 2003, 7.
- 10 **丸橋 賢, 青木博之, 辻本仁志, 亀井琢正, 海老沢 博:** 歯根破折への対策ーインプラントの活用・咬合調整ー. 第24回日本臨床歯内療法学会, 東京, 2003, 7.

- 11 辻本仁志, 小坂橋 徹, 青木博之, 林 浩一, 亀井琢正, 丸橋 賢: β -三リン酸カルシウムを利用したサイナスリフト-骨誘導再生法 (GBR) 併用手術の評価. 第36回日本口腔インプラント学会総会, 新潟, 2006, 9.
- 12 小坂橋 徹, 辻本仁志, 青木博之, 林 浩一, 亀井琢正, 丸橋 賢: β -三リン酸カルシウムを用いたサイナスリフト475症例における骨量変化及び予後の評価. 第36回日本口腔インプラント学会総会, 新潟, 2006, 9.
- 13 辻本仁志, 青木博之, 亀井琢正, 海老沢 博, 丸橋 賢: 造骨手術後のインプラント周囲粘膜獲得の有用性. 第27回日本口腔インプラント学会中国・四国支部学術大会, 高松, 2007, 12.
- 14 辻本仁志, 青木博之, 亀井琢正, 海老沢 博: 両側上顎洞内病変存在例にサイナスリフトを施行した一症例. 第38回日本口腔インプラント学会総会, 東京, 2008, 9.
- 15 辻本仁志: 上顎洞内石灰化病変摘出後にサイナスリフトを施行した一症例. 第53回日本口腔外科学会総会, 徳島, 2008, 10.
- 16 辻本仁志, 青木博之, 亀井琢正, 海老沢 博, 丸橋 賢: 臼歯部インプラント治療により閉塞性睡眠時無呼吸症候群が改善した一例. 第42回日本口腔インプラント学会総会, 大阪, 2012, 9.
- 17 辻本仁志: 咬合治療による姿勢と顎関節の運動性改善の連動性. 第33回日本全身咬合学会学術大会, 東京, 2023, 10.
- 18 辻本仁志, 戸矢 隆, 堀口 智行: 下顎の位置および咬合接触の変化により変動する自律神経の活動性. 第34回日本全身咬合学会学術大会, 福島 (郡山), 2024, 11.
- 19 辻本仁志: 辻本仁志: 顎位・咬合修正により舌痛症が改善した1症例の自律神経変化. 第35回日本全身咬合学会学術大会, 東京, 2025, 12.